

- 問1 明治政府が1872年に発布した、日本で最初の近代的な学校制度を定めた法令の名称として正しいものを選択してください。 （2023年 新潟県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|--------|----------|---------|
| 1. 学制 | 2. 学校令 | 3. 教育基本法 | 4. 教育勅語 |
|-------|--------|----------|---------|
- 問2 明治維新の年表において、1869年の「版籍奉還」と1873年の「地租改正」の間に実施された、中央政府の権限を強化するための改革の内容として正しい説明はどれですか。 （2022年 愛媛県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|---------------------------------------|
| 1. 学制を公布し、身分や性別に関係なくすべての子供が小学校に通う制度を整えた。 | 2. 江戸幕府が結んだ不平等条約を改正するため、岩倉具視を代表とする使節団を欧米へ派遣した。 | 3. 藩を廃止して地方行政を政府の直轄とし、旧藩主に代わって中央から官僚を派遣した。 | 4. 武士の特権を廃止するために、刀を差すことを禁止する廃刀令を発布した。 |
|--|--|--|---------------------------------------|
- 問3 明治時代初期、政府が推進した近代化政策によって人々の生活や社会の様子が大きく変化しました。当時の「文明開化」や「富国強兵」の様子について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 （2026年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 江戸時代からの伝統を守るため、新政府は西洋風の建築や新しい技術の導入を厳しく制限した | 2. 鉄道の開通を拒み、飛脚や馬車による伝統的な通信・交通網を全国で強化した | 3. すべての国民に兵役の義務を課す一方で、武士の特権であった帯刀や苗字の特権を維持させた | 4. 都市部を中心にガス灯やランプが普及し、レンガ造りの建物が建てられるなど、欧米の生活様式が取り入れられた |
|---|--|---|--|
- 問4 地租改正に際して、政府は全国で土地の測量を行い、地価や所有者を記した「地券」を発行しました。この制度において、政府に対して直接納税の義務を負うことになったのはどのような人物ですか。 （2021年 岐阜県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------------|-----------------------|----------------------|-------------------|
| 1. 実際にその土地を借りて耕作している小作人 | 2. 村全体を代表して税をとりまとめる庄屋 | 3. 廃藩置県によって領地を失った旧藩主 | 4. 地券を交付された土地の所有者 |
|-------------------------|-----------------------|----------------------|-------------------|
- 問5 明治政府が実施した地租改正において、それまでの江戸時代の年貢の納め方と比較して、税の基準と納入方法がどのように変更されたか、最も適切なものを選びなさい。 （2026年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------------------------|-----------------------------|------------------------------|-------------------------------|
| 1. 収穫高を基準とし、米で納めるように変更された。 | 2. 収穫高を基準とし、現金で納めるように変更された。 | 3. 土地の面積を基準とし、米で納めるように変更された。 | 4. 土地の価格を基準とし、現金で納めるように変更された。 |
|----------------------------|-----------------------------|------------------------------|-------------------------------|
- 問6 1872年の制度公布後、長野県の旧中込学校のように、洋風の塔を持つ木造の学校建築が各地で建設された。この制度に基づき、政府が全国に最も優先して設置を進めた教育機関はどれか。 （2020年 愛知県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|--------|-------|----------|
| 1. 師範学校 | 2. 小学校 | 3. 藩校 | 4. 工部大学校 |
|---------|--------|-------|----------|
- 問7 1871年に明治政府が、岩倉具視を特命全権大使として欧米諸国へ派遣した大規模な使節団について、その主な目的を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 （2020年 佐賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------------------------|--------------------------------|-------------------------------|---------------------------|
| 1. 日清戦争の講和条約の締結と、賠償金の支払い交渉 | 2. キリスト教の布教を認める代わりに、軍事支援を求めること | 3. 不平等条約改正の交渉と、欧米の進んだ制度や文化の視察 | 4. 鎖国体制を維持するための、外国船への退去通告 |
|----------------------------|--------------------------------|-------------------------------|---------------------------|
- 問8 1873年に明治政府が発した、国民の義務に関する法令の内容とその影響について述べた文として、正しいものを選びなさい。 （2015年 岐阜県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 土地の所有者に地価の3%を現金で納めさせる地租改正が行われ、これにより農民の負担が激減したため一揆の件数は減少した | 2. 全ての国民に小学校教育を受けさせる学制が発布されたが、授業料の負担が軽かったため農民はこれを歓迎し一揆は沈静化した | 3. 満20歳以上の男子に兵役の義務を課す徴兵令が出されたが、農民は働き手を失うことなどを理由に各地で反対一揆を起こした | 4. 武士に代わって農民が国防を担うことを名誉とし、自発的に軍隊へ入隊する者が続出したため一揆は発生しなかった |
|--|--|--|---|
- 問9 幕末から明治初期にかけての日本の政治的変遷について、一連の流れを正しく説明しているものはどれですか。 （2017年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. アメリカとの条約締結による開港を機に政局が混乱し、反対派を弾圧した大老が暗殺された。その後、新政府は五箇条の御誓文で開国和親の方針を示し、廃藩置県によって中央集権化を進めた。 | 2. 尊王攘夷運動の高まりを受けて、幕府は開港した港をすべて閉鎖した。その後、五箇条の御誓文により武士の政治参加を禁じ、廃藩置県で天皇が直接各地を視察する制度を整えた。 | 3. 欧米諸国の圧力に抗して開国を拒絶し続けたが、五箇条の御誓文によって鎖国体制の継続が宣言された。その後、廃藩置県によって旧来の身分制度がより厳格に定められた。 | 4. 大老が暗殺されたことで幕府の権威が回復し、五箇条の御誓文によって幕府と朝廷が協力する公武合体が完成した。その後、廃藩置県によって地方の自治権が強化された。 |
|--|--|---|--|
- 問10 1868年、明治政府が新しい政治の方針として発表した宣言において、「広く会議を開いて世論を大切にし、政治を行うこと（万機公論二決スベシ）」や「旧来の悪い習慣を捨てること」などが示されました。この宣言の名称として正しいものを選択してください。 （2018年 佐賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|-------------|---------|------------|
| 1. 版籍奉還 | 2. 王政復古の大号令 | 3. 廃藩置県 | 4. 五箇条の御誓文 |
|---------|-------------|---------|------------|
- 問11 明治時代、ロシアなどの北方からの脅威に備える警備と、広大な土地の農業開発を同時に行う目的で北海道に置かれた軍事組織の名称として正しいものを選びなさい。 （2020年 新潟県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|-------|--------|--------|
| 1. 防人 | 2. 足軽 | 3. 警視庁 | 4. 屯田兵 |
|-------|-------|--------|--------|
- 問12 明治維新の過程において、1866年の薩長同盟を経て新政府が成立したのち、政府は中央集権化を進めるために土地と人民を天皇に返還させました。この際、それまでの藩主は新たにどのような役職に任命されましたか。 （2026年 愛媛県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|---------|--------|--------|
| 1. 鎮守府将軍 | 2. 太政大臣 | 3. 知藩事 | 4. 県知事 |
|----------|---------|--------|--------|
- 問13 18世紀後半から19世紀にかけてのイギリスでは、技術革新によって社会が大きく変容しました。この時期、綿織物の大量生産を可能にし、のちに鉄道などの交通機関にも利用された動力源と、その主な燃料の組み合わせとして正しいものはどれか。 （2022年 長野県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------------|------------|---------|------------|
| 1. 電気モーターと天然ガス | 2. 内燃機関と石油 | 3. 水車と薪 | 4. 蒸気機関と石炭 |
|----------------|------------|---------|------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 学制	明治政府は、欧米列強に並ぶ「富国強兵」を実現するためには国民の知識水準を上げることが不可欠であると考え、1872年にこの法令を発布しました。「国民皆学」を掲げ、身分や性別に関係なくすべての国民が小学校教育を受けることを目指したものです。教育勅語は1890年に発布された教育の指針であり、教育基本法は第二次世界大戦後に制定された法律です。
問2	答え 3 藩を廃止して地方行政を政府の直轄とし、旧藩主に代わって中央から官僚を派遣した。	1871年に実施された廃藩置県は、版籍奉還後の不十分な統治体制を打破するために行われました。版籍奉還では旧藩主が「知藩事」として各地を治め続けていたため、依然として各地域に独自の権力が残っていました。これを完全に廃止し、政府が任命した府知事や県令を派遣することで、政府の命令が全国に行き届く中央集権体制を確立したことが、その後の地租改正や徴兵令といった大規模な改革の土台となりました。
問3	答え 4 都市部を中心にガス灯やランプが普及し、レンガ造りの建物が建てられるなど、欧米の生活様式が取り入れられた	明治政府は欧米の進んだ技術や制度を積極的に導入しました。これを文明開化と呼び、都市部ではガス灯の設置やレンガ造りの建築といった外見上の変化だけでなく、太陽暦の採用や教育制度（学制）の整備、徴兵令による富国強兵など、社会の仕組みそのものが大きく変化しました。
問4	答え 4 地券を交付された土地の所有者	明治政府は、土地の測量結果や地価を記した「地券」を土地の所有者に発行しました。これにより、誰がその土地の権利を持っているかを明確にすると同時に、地券を保持している「土地の所有者」に納税の義務を課しました。これによって、江戸時代の村単位の納税（村請制）から、個人単位での納税へと近代化されました。
問5	答え 4 土地の価格を基準とし、現金で納めるように変更された。	明治政府は、政府の収入を安定させるために地租改正を行いました。江戸時代の年貢は「収穫高」に応じた「物納（米など）」であったため、豊作や凶作によって政府の収入が変動していましたが、土地の所有者に「地価」に応じた「現金」を納めさせる仕組みに改めることで、天候に左右されない安定した財政基盤を確立しようとしていました。
問6	答え 2 小学校	政府は近代化の基盤として初等教育の普及を最優先課題とし、全国を学区に分けて数多くの小学校を設置しました。当時の地域住民は、自分たちの子供が新しい時代の教育を受けられるよう、多額の費用を出し合って洋風のデザインを取り入れた立派な校舎を建設することもありました。藩校は江戸時代に武士の子弟を教育した機関であり、新制度とは異なります。
問7	答え 3 不平等条約改正の交渉と、欧米の進んだ制度や文化の視察	明治政府にとって、江戸時代末期に結ばれた不平等条約の改正は急務の課題でした。そのための予備交渉を行うとともに、日本を近代国家へと成長させるための手本として、欧米の政治、経済、教育などの社会制度を直接学ぶことが派遣の大きな狙いでした。
問8	答え 3 満20歳以上の男子に兵役の義務を課す徴兵令が出されたが、農民は働き手を失うことなどを理由に各地で反対一揆を起こした	明治政府は「国民皆兵」を掲げて徴兵令を公布し、身分に関わらず軍事的な役割を担わせようとしていました。しかし、それまで軍役を免除されていた農民にとっては、労働力の喪失という経済的負担が極めて大きく、これに反対する「血税一揆」が全国で多発しました。当時の統計資料を見ても、徴兵令が施行された1873年頃に農民一揆の件数が急増していることが確認できます。これは、地租改正による負担への不満などとともに、新政府による急進的な改革が農民の生活を圧迫したことを示しています。
問9	答え 1 アメリカとの条約締結による開港を機に政局が混乱し、反対派を弾圧した大老が暗殺された。その後、新政府は五箇条の御誓文で開国和親の方針を示し、廃藩置県によって中央集権化を進めた。	幕末、井伊直弼が勅許を得ずに日米修好通商条約を結び開港したことは、尊王攘夷派の激しい反発を招き、桜田門外の変で大老が暗殺される事態に至りました。その後、政権を握った明治新政府は、五箇条の御誓文において「広く会議を興し、万機公論に決すべし」や「知識を世界に求め」といった方針を打ち出し、旧来の藩制度を廃止して県を置くことで、近代的な中央集権国家の基礎を築きました。
問10	答え 4 五箇条の御誓文	1868年（慶応4年）3月に明治天皇が神に誓う形式で発表されました。幕府を倒した後の新政府が、一部の勢力による独裁ではなく、広く意見を取り入れる姿勢（公論）を示すことで、国内外に新しい国づくりの方針を明示したものです。
問11	答え 4 屯田兵	明治政府は、ロシアの南下政策を警戒し、北方の警備を強化する必要がありました。同時に、北海道の豊かな資源を開発するために大規模な開拓も急務であったため、兵士と農民の役割を兼ね備えた屯田兵という制度を設けました。防人は古代の九州沿岸の警備組織であるため、時代背景が異なります。
問12	答え 3 知藩事	版籍奉還が行われた際、旧藩主たちはその地位を直ちに失ったわけではなく、政府から「知藩事」という役職に任命されました。これにより、藩主は従来の世襲による支配者ではなく、政府の官吏として藩の統治を行う形をとりました。しかし、この仕組みでは中央集権化が不十分であったため、1871年に藩そのものを廃止して県を置く廃藩置県が断行されることになりました。
問13	答え 4 蒸気機関と石炭	産業革命期のイギリスでは、ワットらによって改良された蒸気機関が普及し、それまでの水力や人力を上回る圧倒的な動力を得ることが可能になりました。この蒸気機関を動かすための主要なエネルギー源として石炭が大量に採掘され、工業化の進展を支えました。この動きは綿工業から始まり、のちに製鉄業や鉄道、蒸気船といった交通の分野へも広がっていきました。

- 問1

1874年の佐賀の乱を皮切りに、1876年には熊本・福岡・山口などで不平士族による反乱が相次いで発生しました。これらの士族による反乱の中で、1877年に西郷隆盛を指導者として鹿児島で起こり、政府軍によって鎮圧された最大かつ最後の武力蜂起は何ですか。（2021年 福島県公立入試 類似）

1. 戊辰戦争

2. 禁門の変

3. 西南戦争

4. 大塩平八郎の乱
- 問2

明治政府が1871年に実施した廃藩置県の制度上の特徴と、その目的について述べた文として最も適切なものはどれですか。（2024年 栃木県公立入試 類似）

1. 中央政府から府知事・県知事を派遣し、全国を直接統治する中央集権体制を確立しようとした。

2. 武士の特権を守るために藩の借金を政府が肩代わりし、士族の生活を保障しようとした。

3. 旧藩主をそのまま知事として留任させ、幕藩体制を近代化させることを目的とした。

4. 各県に大幅な自治権を与え、アメリカのような連邦制の国づくりを目指した。
- 問3

1868年に日本で明治維新が始まった時期に、世界で起こっていた主な出来事として、時期が最も近いものはどれですか。（2019年 福島県公立入試 類似）

1. ロシア革命

2. フランス革命

3. アヘン戦争

4. 南北戦争
- 問4

1872年の制度公布後、長野県の旧中込学校のように、洋風の塔を持つ木造の学校建築が各地で建設された。この制度に基づき、政府が全国に最も優先して設置を進めた教育機関はどれか。（2020年 愛知県公立入試 類似）

1. 小学校

2. 工部大学校

3. 藩校

4. 師範学校
- 問5

かつての薩摩藩・長州藩・土佐藩・肥前藩の4藩による連合が発足してから150年を迎えることを記念し、近年ではこれらの地域が連携して広域的な観光プロジェクトを実施しています。この4藩が中心となって江戸幕府を倒したのち、明治政府によって進められた政治・経済・社会の近代化を目指した一連の改革を何といいますか。（2017年 沖縄県公立入試 類似）

1. 明治維新

2. 殖産興業

3. 地租改正

4. 文明開化
- 問6

日本のスポーツ史と外交史を並べた年表において、岩倉使節団がアメリカ合衆国へ派遣された時期と、アメリカ人教師によって野球が日本に伝えられた時期は、明治時代の初期で重なっています。このように、明治政府が近代産業の育成や教育・文化の発展のために招いた外国人が果たした役割の説明として、正しいものはどれですか。（2024年 神奈川県公立入試 類似）

1. 鎖国制度を維持しながら、長崎の出島で限定的な学問の伝達を行った。

2. 大日本帝国憲法の草案を単独で作成し、日本の議会政治を完成させた。

3. 満州事変の調査のために派遣され、国際連盟に報告書を提出した。

4. 欧米の先進的な技術や知識を直接指導し、日本の近代化を加速させた。
- 問7

1871年、明治政府はそれまで各地の旧藩主が統治していた仕組みを廃止し、中央政府が任命した官吏を派遣して全国を直接統治する体制を整えました。この出来事をきっかけに確立された、中央に権限を集中させる政治体制を何と呼びますか。（2019年 島根県公立入試 類似）

1. 幕藩体制

2. 版籍奉還

3. 封建制度

4. 中央集権体制
- 問8

五条の御誓文が発表された翌日、明治新政府が民衆に対してキリスト教の禁止や徒党の禁止などを命じ、これまでの幕府の政策を継承したものを何といいますか。（2016年 岡山県公立入試 類似）

1. 五榜の掲示

2. 治安維持法

3. 徴兵令

4. 学制
- 問9

明治政府が行った地租改正の内容について、正しい説明はどれですか。（2017年 愛知県公立入試 類似）

1. 土地の所有者に地券を発行し、毎年の収穫量を基準としてその3パーセントを米で納めさせた。

2. 政府がすべての土地を買い上げ、地価を基準としてその2.5パーセントを現金で納めさせた。

3. 土地の所有者に地券を発行し、地価を基準としてその3パーセントを現金で納めさせた。

4. 村ごとに土地の面積を調査し、地価を基準としてその3パーセントを米で納めさせた。
- 問10

明治時代初期の教育制度に関する説明として、当時の建築的特徴や制度の背景をふまえたものとして最も適切な記述を選択してください。（2023年 新潟県公立入試 類似）

1. 天皇に対する忠誠や愛国の精神を教育の基本とするために発布され、全国の学校で道徳教育の柱として活用された。

2. 「国民皆学」の理念のもとで近代教育が推進され、長野県の旧開智学校のように和洋折衷の「擬洋風建築」を用いた校舎が建設されるなど、近代化の象徴となった。

3. 江戸時代の寺子屋や藩校の教育内容をそのまま継承することを目的とし、伝統的な和風建築による校舎の整備が全国で進められた。

4. 個人の尊厳と真理の探究を目的として戦後に制定され、義務教育の期間を6年から9年に延長することが定められた。
- 問11

1867年から1925年までの日本の近代化の過程を記した年表において、王政復古の号令から戊辰戦争の発生へと至る一連の動きが見られます。この戊辰戦争が勃発した背景や経緯についての説明として、最も適切なものはどれですか。（2020年 香川県公立入試 類似）

1. 旧幕府軍が天皇の権威を否定し、徳川慶喜を再び将軍とする新たな幕府を江戸に開こうとした。

2. 明治新政府の徴兵令に反対した士族たちが、西郷隆盛を担いで鹿児島で大規模な反乱を起こした。

3. 新政府が行った地租改正や学制の導入に対し、生活が苦しくなった農民たちが各地で暴動を起こした。

4. 新政府が徳川氏を政治から排除しようとしたことに旧幕府側が反発し、京都での武力衝突をきっかけに全国へ広がった。
- 問12

井原西鶴や近松門左衛門が活躍した時代は、当時の元号から「元禄文化」と呼ばれます。しかし、明治時代になると元号の制度が大きく変わり、現代まで続く運用のルールが定められました。明治以降の元号の決め方について述べた説明として、最も適切なものはどれですか。（2021年 岐阜県公立入試 類似）

1. 天皇一人の在位期間中、元号を一つに限定するようになった

2. 亡くなった天皇を称える「諡（おくりな）」を、そのまま存命中の元号とした

3. 優れた功績を挙げた政治家の「姓名」から元号を選ぶようになった

4. 朝廷が授ける「官位」の名称をそのまま元号として用いるようになった
- 問13

明治維新が行われた後の1868年から1880年までの期間、日本は近代国家としての基盤を整えるためにさまざまな改革を短期間で進めました。この期間の出来事として誤っているものはどれですか。（2020年 鳥取県公立入試 類似）

1. 満20歳になった男子に兵役の義務を課す「徴兵令」が布告された。

2. 内閣制度が創設され、伊藤博文が初代総理大臣に就任した。

3. 6歳以上の男女が小学校で教育を受けることを義務づける「学制」が公布された。

4. 新橋と横浜の間で、日本初の鉄道が開通した。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 西南戦争	九州地方を中心とした一連の不平士族の反乱の中で、最大の規模となったのが1877年の西南戦争です。維新の功労者であった西郷隆盛を担ぎ出したこの戦争が政府軍（徴兵制による軍隊）によって鎮圧されたことで、武力による新政府への抵抗は終わりを告げました。以後の反政府運動は、言論によって国会の開設などを求める「自由民権運動」へと主流が移っていくこととなります。
問2	答え 1 中央政府から府知事・県知事を派遣し、全国を直接統治する中央集権体制を確立しようとした。	明治政府は、欧米列強に対抗できる近代国家を建設するため、政府の命令が全国に速やかに行き渡る体制を求めています。廃藩置県によって旧藩主の統治権を完全に取り上げ、政府が任命した官吏（府知事・県知事）を派遣して統治させることで、政治・軍事・租税などの権限を中央政府に集中させる「中央集権化」を成し遂げました。
問3	答え 4 南北戦争	アメリカ合衆国で奴隷制や貿易政策をめぐる起こった南北戦争は1861年から1865年の出来事であり、日本の明治維新（1868年）とほぼ同時期です。フランス革命は18世紀末（1789年～）、アヘン戦争は1840年、ロシア革命は20世紀初頭（1917年）であり、それぞれ時期が異なります。
問4	答え 1 小学校	政府は近代化の基盤として初等教育の普及を最優先課題とし、全国を学区に分けて数多くの小学校を設置しました。当時の地域住民は、自分たちの子供が新しい時代の教育を受けられるよう、多額の費用を出し合って洋風のデザインを取り入れた立派な校舎を建設することもありました。藩校は江戸時代に武士の子弟を教育した機関であり、新制度とは異なります。
問5	答え 1 明治維新	江戸幕府の統治が終わり、天皇を中心とする新政府が発足したのちに行われた日本の近代国家建設に向けた大きな変革を明治維新と呼びます。薩摩（鹿児島県）、長州（山口県）、土佐（高知県）、肥前（佐賀県・長崎県）の4藩は、幕府を倒す原動力となったことから「薩長土肥」と呼ばれ、新政府の要職を多くの出身者が占めました。選択肢にある「文明開化」は西洋の文化が流入した風潮を、「地租改正」は土地や税制の改革を指す個別の事象や政策です。
問6	答え 4 欧米の先進的な技術や知識を直接指導し、日本の近代化を加速させた。	明治政府に招かれたお雇い外国人は、単に技術を伝えるだけでなく、学校教育を通じて日本人の指導者を育成することにも尽力しました。野球の伝来のように、彼らがもたらした文化は日本の市民生活にも浸透していきました。同時期に行われた岩倉使節団の派遣も、欧米の進んだ制度を直接学び、不平等条約の改正を目指すという共通の近代化目的を持っていました。
問7	答え 4 中央集権体制	明治政府は、欧米列強に対抗できる近代国家をつくるため、各地に分散していた権力を中央に集める必要がありました。廃藩置県によって藩が廃止され、中央から府知事や県令が派遣されたことで、全国を一括して統治する中央集権体制が整いました。1869年の版籍奉還では旧藩主が引き続き知藩事として統治していましたが、それでは不十分であったため、この断行に至りました。
問8	答え 1 五榜の掲示	新政府が指導者層の理想として「五条の御誓文」を示した一方で、一般の民衆に対しては従来通りの厳しい統制を求めたのが「五榜の掲示」です。特にキリスト教については、明治政府が後に欧米諸国からの抗議を受けて解禁するまで、依然として禁止されていました。
問9	答え 3 土地の所有者に地券を発行し、地価を基準としてその3パーセントを現金で納めさせた。	明治政府は、近代的な国家運営のための安定した財源を確保しようとしてしました。それまでの収穫量に応じた米による納税（物納）ではなく、土地の所有者に地券を発行して所有権を認めるとともに、地価の3パーセントを税として現金（金納）で納めさせる制度を確立しました。
問10	答え 2 「国民皆学」の理念のもとで近代教育が推進され、長野県の旧開智学校のように和洋折衷の「擬洋風建築」を用いた校舎が建設されるなど、近代化の象徴となった。	1872年に発布された学制により、日本各地で近代的な教育を受けるための学校建設が進められました。その際、伝統的な日本の大工技術に西洋風のデザインを取り入れた「擬洋風建築」と呼ばれるスタイルの校舎が造られ、長野県の旧開智学校はその代表例として知られています。当初は授業料の負担が重く、反対一揆が起こることもありましたが、政府は国民皆学を強く推進しました。
問11	答え 4 新政府が徳川氏を政治から排除しようとしたことに旧幕府側が反発し、京都での武力衝突をきっかけに全国へ広がった。	王政復古の大号令によって成立した新政府は、徳川氏に対して官職の辞退や領地の返納を命じ、政治的な実権を奪おうとしました。これに激しく反発した旧幕府側の勢力が、1868年に京都の鳥羽・伏見で新政府軍と衝突したことで戊辰戦争が始まりました。戦いは東北、そして北海道の五稜郭へと移り、新政府が全国を統一するまで続きました。士族の反乱である西南戦争や、農民による一揆とは発生の目的や勢力図が異なります。
問12	答え 1 天皇一人の在位期間中、元号を一つに限定するようになった	江戸時代までの日本では、大きな火災や飢饉などの厄払いや、おめでたい出来事を理由に、天皇が交代しなくても元号を変えることが一般的でした。明治政府はこの慣習を改め、明治という元号を天皇の生涯にわたって継続させる「一世一元の制」を採用しました。これにより、元号が単なる年数のカウントではなく、特定の天皇の治世を示す象徴としての意味を強めることになりました。
問13	答え 2 内閣制度が創設され、伊藤博文が初代総理大臣に就任した。	明治初期の社会改革では、1872年の学制公布、1873年の徴兵令布告、1872年の鉄道開通などが相次いで行われ、近代化の基盤が作られました。一方、内閣制度の創設は1885年であり、大日本帝国憲法の発布（1889年）に向けた政治体制の整備が進む、より後の時期の出来事です。

- 問1 1870年時点における世界の工業生産シェアにおいて、イギリスが3割以上を占めるなど欧米諸国で工業化が進んでいた背景を踏まえ、明治政府がお雇い外国人を招いて行った政策の目的として最も適切なものはどれですか。 (2017年 奈良県公立入試 類似)
1. 欧米の先進的な技術や制度を導入することで、産業の育成や軍備の強化を図り、日本の近代化を推し進めるため。
 2. 江戸時代の封建的な身分制度を維持しながら、特定の軍事技術だけを効率的に習得させるため。
 3. 不平等条約の改正を有利に進めるために、欧米諸国のキリスト教を日本国内に普及させる活動を支援させるため。
 4. 外国の資本を直接受け入れ、国内の主要な鉱山や工場の経営をすべて外国人に委ねることで経済を安定させるため。
- 問2 明治政府は近代国家をつくるために様々な改革を行いました。その一環として、1872年に全国統一の戸籍を編纂して国民の情報を把握し、その翌年に発令された、満20歳になった男子に兵役を義務づけた法令を何といいますか。 (2016年 岩手県公立入試 類似)
1. 国家総動員法
 2. 治安維持法
 3. 武家諸法度
 4. 徴兵令
- 問3 明治政府が地租改正を行い、税の基準をそれまでの「収穫量」から「地価」に変更した最大の目的は何ですか。 (2021年 岐阜県公立入試 類似)
1. 豊凶にかかわらず、政府が安定した税収を得られるようにするため
 2. 農民の税負担を大幅に軽減し、生活を安定させるため
 3. 土地の売買を禁止し、すべての土地を政府の直接管理下に置くため
 4. 江戸時代からの慣習であった物納を継続し、米の流通を守るため
- 問4 日本における近代国家の形成過程において、立憲制が確立されるまでの歴史的な流れを整理した説明として、正しいものを選んでください。 (2026年 秋田県公立入試 類似)
1. 大日本帝国憲法が発布されたことを受けて自由民権運動が活発化し、板垣退助らが民権議院設立の建白書を提出した結果、初めての衆議院議員総選挙が実施された。
 2. 徴兵令の施行によって国民皆兵が実現した後、教育勅語による天皇中心の教育が徹底され、その成果として大日本帝国憲法が発布されて国会が開設された。
 3. 藩閥政治への批判から民権議院設立の建白書が提出され、自由党や立憲改進党が結成された後、大日本帝国憲法が発布され、翌年に第1回衆議院議員総選挙が行われた。
 4. 第1回衆議院議員総選挙の実施後に、国民の代表による議論を経て大日本帝国憲法が制定され、これに合わせて板垣退助が日本で最初の政党となる自由党を結成した。
- 問5 1873年（明治6年）に明治政府が実施した地租改正について、従来の年貢の仕組みを廃止し、地券の調査を完了させた際に出された法令の内容として正しいものはどれですか。課税の基準、税率、納税方法の組み合わせとして適切なものを選びなさい。 (2022年 大阪府公立入試 類似)
1. 土地の価格である地価を基準とし、その3%にあたる額を現金で納める
 2. 土地の価格である地価を基準とし、その3%にあたる額を米で納める
 3. その年の収穫高を基準とし、その3%にあたる額を現金で納める
 4. その年の収穫高を基準とし、その3%にあたる額を米で納める
- 問6 1868年、明治政府が新しい政治の方針として発表した宣言において、「広く会議を開いて世論を大切にし、政治を行うこと（万機公論二決スベシ）」や「旧来の悪い習慣を捨てること」などが示されました。この宣言の名称として正しいものを選択してください。 (2018年 佐賀県公立入試 類似)
1. 王政復古の大号令
 2. 版籍奉還
 3. 廃藩置県
 4. 五箇条の御誓文
- 問7 1867年に出された王政復古の大号令により新政府の樹立が宣言された後、新政府軍と旧幕府軍の間で1868年から翌年にかけて戦われ、最終的に新政府軍が勝利した内戦を何といいますか。 (2026年 岡山県公立入試 類似)
1. 西南戦争
 2. 日露戦争
 3. 日清戦争
 4. 戊辰戦争
- 問8 1872年に明治政府が公布した、日本最初の近代的で統一的な学校制度を何というか、名称を答えなさい。 (2020年 愛知県公立入試 類似)
1. 教育基本法
 2. 学制
 3. 義務教育令
 4. 学校教育法
- 問9 明治時代、欧米の文化や技術が積極的に導入された「文明開化」の象徴として、1872年に日本で最初の鉄道が開通しました。このとき、線路が敷設された区間の組み合わせとして正しいものを、次の記述から選んでください。 (2020年 沖縄県公立入試 類似)
1. 新橋と横浜の間
 2. 上野と熊谷の間
 3. 京都と神戸の間
 4. 日本橋と浦賀の間
- 問10 「薩長同盟の結成」「徳川慶喜による大政奉還」「五箇条の御誓文の宣布」「版籍奉還の実施」という4つの歴史的な事象について述べた記述のうち、時系列で3番目に起こった出来事の説明として正しいものはどれですか。 (2021年 三重県公立入試 類似)
1. 各地の藩主が、それまで支配していた土地と人民を天皇（政府）に返還した。
 2. 土佐藩の人物による仲介で、倒幕を目指す強力な政治・軍事勢力が形成された。
 3. 江戸幕府の最後の将軍が、政権を朝廷に返上して幕府による支配に終止符を打った。
 4. 明治天皇が神々に誓う形式で、公議世論の尊重や開国和親など新政府の基本方針を示した。
- 問11 1867年に徳川慶喜が政権を朝廷に返上しましたが、倒幕派の諸藩は天皇中心の新政権を樹立するため、ある宣言を行いました。この宣言をきっかけとして、翌1868年から新政府軍と旧幕府軍との間で発生した約1年半にわたる内戦の名称として正しいものはどれですか。 (2020年 香川県公立入試 類似)
1. 王政復古の大号令によって始まった戊辰戦争
 2. 大政奉還によって始まった西南戦争
 3. 版籍奉還によって始まった西南戦争
 4. 廃藩置県によって始まった日清戦争
- 問12 15代将軍徳川慶喜は、倒幕派に政権を武力で奪われるのを避けるため、1867年に政権を朝廷に返上しました。しかし、薩摩藩や長州藩らは徳川家を完全に排除した新政府の樹立を目指しました。このとき、幕府の廃止と天皇を中心とする政治への復帰を宣言したものを何といいますか。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)
1. 王政復古の大号令
 2. 五箇条の御誓文
 3. 大政奉還
 4. 版籍奉還
- 問13 明治政府は1873年から地租改正を実施しましたが、三重県などで大規模な反対一揆が発生したことを受け、1877年に税率の変更を行いました。このとき実施された措置の内容として正しいものはどれですか。 (2019年 熊本県公立入試 類似)
1. 地租の納入方法を現金から米による現物納付に変更した
 2. 地価の2.5%であった地租を1%に引き下げた
 3. 地価の3%であった地租を2.5%に引き下げた
 4. 地価の3%であった地租を完全に廃止した
- 問14 明治維新の改革の一つである「版籍奉還」の内容を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2019年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 藩主が持っていた領地と領民を天皇に返し、旧藩主は知藩事に任命された。
 2. 藩を完全に廃止して新たに県を設置し、中央政府から府知事や県令を派遣した。
 3. 土地の所有権を認めるとともに、地価の3%を税として現金で納めさせた。
 4. 武士に与えられていた家禄などの特権を廃止し、軍隊や官吏の給与を整えた。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 欧米の先進的な技術や制度を導入することで、産業の育成や軍備の強化を図り、日本の近代化を推し進めるため。	明治政府は「富国強兵」を掲げ、先行して工業化を達成していたイギリスやドイツなどの技術を吸収することで、短期間で国力を高めようとしてしました。お雇い外国人は、鉄道の敷設、通信網の整備、官営模範工場の建設、近代적軍隊の編制、大学での教育など、多岐にわたる分野で日本の基盤づくりを支えました。
問2	答え 4 徴兵令	明治政府は「富国強兵」のスローガンのもと、近代的な軍隊を創設しようとしてしました。そのためには、誰がどこに住んでいるかを正確に把握する必要があったため、1872年に日本初の近代的な戸籍（壬申戸籍）を作りました。この情報をもとに、1873年、身分に関わらず一定の年齢に達した男子に軍務を課す法令が定められました。
問3	答え 1 豊凶にかかわらず、政府が安定した税収を得られるようにするため	収穫量を基準とする従来の制度では、不作の年に政府の収入が激減し、近代国家の建設に必要な予算が立てにくいという課題がありました。税率を土地の価格（地価）に対して固定し、現金で納めさせることで、政府は毎年の収入を一定に保ち、安定した国家予算を確保しようとしてしました。
問4	答え 3 藩閥政治への批判から民撰議院設立の建白書が提出され、自由党や立憲改進黨が結成された後、大日本帝国憲法が公布され、翌年に第1回衆議院議員総選挙が行われた。	日本の議会政治は、1874年の民撰議院設立の建白書による自由民権運動の開始、1880年代の政党結成、1889年の憲法公布、そして1890年の総選挙と国会開設という順序で進展しました。憲法は国民が選んだ代表が作ったのではなく、天皇が定めて国民に与える「欽定憲法」の形式をとっていたことも重要な特徴です。
問5	答え 1 土地の価格である地価を基準とし、その3%にあたる額を現金で納める	明治政府は近代的な国家運営に必要な財政基盤を固めるため、地租改正を実施しました。それまでの年貢は、その年の収穫高に応じて米で納める「物納」であったため、気候による豊作・凶作や米の市場価格の変動によって政府の収入が不安定になるという欠点がありました。そこで、土地の所有権を認める地券を発行して「地価」を確定させ、その「3%」を一律に「現金」で納めさせる仕組みへと改めました。これにより、政府は農作物の出来不出来に関わらず、安定した税収を確保できるようになりました。
問6	答え 4 五箇条の御誓文	1868年（慶応4年）3月に明治天皇が神に誓う形式で発表されました。幕府を倒した後の新政府が、一部の勢力による独裁ではなく、広く意見を取り入れる姿勢（公論）を示すことで、国内外に新しい国づくりの方針を明示したものです。
問7	答え 4 戊辰戦争	徳川慶喜が大政奉還を行った後、岩倉具視らを中心とする新政府は「王政復古の大号令」を発し、天皇を中心とする政治への転換を宣言しました。これに反発する旧幕府勢力（旧幕府軍）と、新たな体制を主導する新政府軍との間で鳥羽・伏見の戦いから始まり、函館の五稜郭での戦いまで続いた一連の内戦を戊辰戦争と呼びます。明治政府の近代化政策に不満を持つ士族が起こした「西南戦争」とは、発生時期や対立構造が異なるため注意が必要です。
問8	答え 2 学制	明治政府は、欧米列強に対抗できる近代的な国家をつくる（富国強兵・殖産興業）ためには国民全体の知識向上が不可欠であると考えました。そのため、1872年に日本で初めての体系的な教育制度を定め、身分や性別に関わらず全ての国民が教育を受けることを目指しました。戦後の教育基本法などと混同しないよう注意が必要です。
問9	答え 1 新橋と横浜の間	明治政府は近代化を推し進めるため、イギリスから技術や資金を導入して鉄道の建設を行いました。1872年、現在の東京都にある新橋と、貿易の拠点であった神奈川県横浜を結ぶ区間に日本で最初の鉄道が開通しました。当時の蒸気機関車は、人々に文明開化の到来を強く印象付けることとなりました。
問10	答え 4 明治天皇が神々に誓う形式で、公議世論の尊重や開国和親など新政府の基本方針を示した。	提示された出来事は、薩長同盟（1866年）、大政奉還（1867年）、五箇条の御誓文（1868年）、版籍奉還（1869年）という順序で発生しました。3番目の五箇条の御誓文は、戊辰戦争の最中に明治天皇が発したもので、新政府が旧来の慣習を破り、国民が協力して近代国家を築くための基本方針を内外に宣言したものです。
問11	答え 1 王政復古の大号令によって始まった戊辰戦争	江戸幕府が政権を返上した大政奉還のあと、薩摩藩や長州藩らを中心とする勢力は、天皇中心の政治に戻すことを宣言する「王政復古の大号令」を発しました。これにより新政府が成立しましたが、権力を失うことに反発した旧幕府軍との間で、1868年の鳥羽・伏見の戦いを皮切りに「戊辰戦争」と呼ばれる一連の内戦が引き起こされました。西南戦争は明治初期の士族による反乱であり、日清戦争は清との間で行われた対外戦争です。
問12	答え 1 王政復古の大号令	徳川慶喜が大政奉還を行ったものの、倒幕派は徳川家を政治から完全に排除しようと考え、朝廷を動かして「王政復古の大号令」を出させました。これにより摂政・関白や幕府の廃止が決定し、総裁・議定・参与の三職からなる新しい政府が成立しました。
問13	答え 3 地価の3%であった地租を2.5%に引き下げた	地租改正は、土地の所有者に地価の3%を現金で納めさせることで政府の財政を安定させる目的がありましたが、農民にとっては江戸時代と変わらない重い負担でした。1876年に三重県を中心に全国で激しい反対一揆が起きたため、政府は農民の不満を和らげ、当時激化していた士族の反乱と農民が結びつくのを防ぐために、1877年に税率を2.5%に減らしました。当時、この減税は「竹槍でどんと突き出す2.5」などと風刺されました。
問14	答え 1 藩主が持っていた領地と領民を天皇に返し、旧藩主は知藩事に任命された。	藩主が領地（版）と領民（籍）を天皇に返還したあとも、旧藩主は「知藩事」として引き続き各藩の統治にあたりました。この時点ではまだ藩の仕組み自体は残っていましたが、後の「廃藩置県」によって藩そのものが廃止され、中央集権化がさらに徹底されることになります。

問1 首都パリでの夏季大会に加え、アルプス山脈に近いシャモニー、グルノーブル、アルペールビルなどで冬季大会を開催してきた歴史を持つフランスは、人権概念の発展において重要な役割を果たしました。この人権の歴史的な変遷に関する説明として正しいものはどれですか。 (2025年 京都府公立入試 類似)

1. 当初は個人の経済活動を制限して平等を目指す「社会権」が重視されたが、近代化が進むにつれて国家の介入を一切排除する「自由権」へと権利の重点が移行した。
2. フランス革命期には「社会権」の考え方が主流であったが、ナポレオンの独裁によってその権利は否定され、20世紀になってようやく「平等権」として復活した。
3. 18世紀から19世紀にかけては国家からの干渉を制限する「自由権」が中心であったが、20世紀に入ると国家に対して人間らしい生活の保障を求める「社会権」が認められるようになった。
4. ナポレオンが皇帝に即位した当初から、個人の自由を守る「自由権」と、国家に生活保障を求める「社会権」は等しく重要な権利として憲法で保障されていた。

問2 明治政府が1872年から1879年にかけて行った、琉球王国を日本の一つの地方行政単位として組み込んでいく一連の措置に関する記述として、正しいものはどれですか。組織名の変遷に注目して選びなさい。 (2021年 沖縄県公立入試 類似)

1. まず沖縄藩を設置して政府の管轄とし、その後に県庁を置いて沖縄県とした
2. まず沖縄県を設置して近代化を進め、その後に自治を認めて琉球藩とした
3. まず琉球藩を設置して国王を藩王とし、その後に藩を廃止して沖縄県を置いた
4. まず琉球王国を廃止して沖縄藩を設置し、最終的に鹿児島県に編入した

問3 明治政府が地租改正において、税の基準を「収穫量」から「地価」へ、納入方法を「米」から「現金」へと変更した最大の理由は何ですか。 (2017年 愛知県公立入試 類似)

1. 豊作や不作などの天候に左右されず、政府が安定した収入を得られるようにするため。
2. 現金の流通を抑えることで、インフレーションを防止し物価を安定させるため。
3. 江戸時代の徴税制度をそのまま引き継ぐことで、農村の混乱を避けるため。
4. 農民の税負担を大幅に減らし、自由な経済活動を促進するため。

問4 明治政府が地租改正において、納税の方法を従来の「米による物納」から「現金による金納」へと改めた主な理由として最も適切なものはどれか。 (2020年 大分県公立入試 類似)

1. 農村での貨幣経済の普及を抑制し、農民が自給自足の生活を維持できるようにするため。
2. 豊作や不作、あるいは米価の変動に左右されず、政府が安定した税収を確保できるようにするため。
3. 地主の権限を弱め、すべての農民に平等な納税の義務を課すことで江戸時代の身分制を完全に打破するため。
4. 政府が米を直接管理することで、海外への輸出を独占し貿易赤字を解消するため。

問5 1871年に実施された地方行政制度の改革において、明治政府が中央集権体制を強固にするために、旧藩主に代わって中央から各県へと派遣した役職を何といいますか。 (2022年 埼玉県公立入試 類似)

1. 将軍
2. 藩主
3. 県令
4. 守護

問6 明治初期、福沢諭吉などの思想家たちが、欧米の近代的な考え方を日本に紹介し、古い習慣を改めて合理的な社会を作ろうとした動きについて述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 福島県公立入試 類似)

1. 学問を通じて個人の自立を促し、欧米の思想を広めようとする啓蒙思想が流行した。
2. 大衆の政治参加を目指し、吉野作造が民主主義を提唱して普通選挙の実現を訴えた。
3. 武士の特権を守るため、欧米の文化を拒絶して日本の伝統的な生活様式を重視した。
4. 天皇中心の政治を確立するため、仏教を排除して神道を国教とする政策を推進した。

問7 明治政府が実施した地租改正の仕組みについて述べたものとして、最も適切なものはどれですか。 (2021年 秋田県公立入試 類似)

1. 土地の所有者が、収穫高を基準として算出された金額を、物価の変動に合わせて現金で納める。
2. 土地の耕作者が、地価の3%に相当する額を、政府の指示に従って米または現金で選択して納める。
3. 土地の耕作者が、その年の収穫高の3%を、地券の交付を受けた後に米で納める。
4. 土地の所有者が、その土地の価格(地価)の3%を、豊凶に関わらず現金で納める。

問8 幕末から明治時代にかけて、欧米諸国の近代思想を日本に紹介した啓蒙思想家で、『学問のすゝめ』を著して個人の自立と実学の重要性を説いた人物は誰ですか。 (2017年 群馬県公立入試 類似)

1. 福沢諭吉
2. 中江兆民
3. 板垣退助
4. 吉田松陰

問9 明治新政府が発表した基本方針の第一条には「広く会議を興し、万機公論に決すべし」という一節があります。この内容が目指した方向性として、最も適切な説明はどれか。 (2016年 岡山県公立入試 類似)

1. 話し合いの場を設けて、人々の意見を尊重しながら政治を行うこと
2. 一部の有力な藩だけで権力を独占し、政治を秘密裏に進めること
3. 江戸幕府の仕組みをそのまま引き継ぎ、将軍が引き続き政治を行うこと
4. 外国との交渉を一切断ち切り、攘夷を徹底して実行すること

問10 明治政府が欧米列強に対抗し、日本の自立と近代化を図るために掲げた、経済を発展させて国を豊かにし、それによって軍隊の強化を目指した基本政策を何と呼ぶか。 (2017年 富山県公立入試 類似)

1. 版籍奉還
2. 富国強兵
3. 文明開化
4. 大政奉還

問11 明治政府が「学制」の公布や「徴兵令」の布告といった大規模な改革を短期間のうちに断行した背景にある、当時の政府の基本的な方針として最も適切なものはどれですか。 (2020年 鳥取県公立入試 類似)

1. 地方の農村の自治を尊重し、重い税負担を軽減することで国民の支持を得るため。
2. 欧米列強に対抗できる経済力と軍事力を持つ「富国強兵」を目指したため。
3. 江戸時代の身分制度を維持し、士族の特権を守ることで社会の安定を図るため。
4. 外国との交易を制限し、日本独自の伝統文化を保護することを最優先したため。

問12 明治政府が、都市部においてガス灯の設置や洋風建築の導入といった「文明開化」を積極的に後押しした政治的な背景として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 愛媛県公立入試 類似)

1. 日本独自の「和魂洋才」という精神を世界に広め、アジアのリーダーとしての地位を確立するため。
2. 都市部と農村部の経済格差を解消し、日本全体の生活水準を一律に向上させるため。
3. 江戸時代の伝統文化を完全に否定することで、幕府の権威を民衆の記憶から消し去るため。
4. 日本が近代化された国であることを欧米諸国に示し、不平等条約の改正を有利に進めるため。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 18世紀から19世紀にかけては国家からの干渉を制限する「自由権」が中心であったが、20世紀に入ると国家に対して人間らしい生活の保障を求める「社会権」が認められるようになった。	近代初期の人権は、絶対王政による不当な拘束や抑圧を排除することを目的とした「自由権（国家からの自由）」が中心でした。しかし、産業革命後の社会問題（貧困や労働環境の悪化）を背景に、20世紀に入ると、ドイツのワイマール憲法などで「社会権（国家による自由）」という、国家が国民の生活を保障するべきであるという考え方が確立されました。ナポレオンの時代にはまだ社会権の概念は定着していませんでした。
問2	答え 3 まず琉球藩を設置して国王を藩王とし、その後、藩を廃止して沖縄県を置いた	明治政府は中央集権国家の確立と国境の画定を急いでいました。1872年に琉球王国を琉球藩とし、国王の尚泰を藩王とすることで日本政府の支配下にあることを示しました。さらに1879年、警察や軍隊の力を背景に琉球藩を廃止して沖縄県を設置し、完全に日本の地方行政組織に組み込みました。この一連の政治的措置を「琉球処分」と呼びます。
問3	答え 1 豊作や不作などの天候に左右されず、政府が安定した収入を得られるようにするため。	江戸時代の年貢は収穫量に応じて変動したため、政府の収入が天候に左右されて不安定でした。地租改正では、土地の価値である地価を固定し、それを基準に現金で納めさせることで、政府はあらかじめ決まった額の税収を確実に得ることができるようになりました。
問4	答え 2 豊作や不作、あるいは米価の変動に左右されず、政府が安定した税収を確保できるようにするため。	それまでの収穫高に応じた米による納税では、天候による不作や、市場における米の価格変動によって、政府の毎年の収入が不安定になるという欠点がありました。土地の価格（地価）を基準に固定された金額を現金で納めさせることで、政府は景気や天候に左右されない安定した財政基盤を確立し、近代化政策を進めるための資金を得ようとしていました。
問5	答え 3 県令	廃藩置県によって、それまで土地や人民を支配していた旧藩主（知藩事）は東京へ移住させられました。代わって中央政府から派遣された官吏は「県令（現在の知事にあたる役職）」と呼ばれ、政府の方針に従って各県の行政を担いました。これにより、地方の支配権が完全に中央政府の手に握られることとなりました。
問6	答え 1 学問を通じて個人の自立を促し、欧米の思想を広めようとする啓蒙思想が流行した。	福沢諭吉は明六社などの活動を通じ、西洋の自由や平等の考え方を日本に広める啓蒙思想の中心的な役割を担いました。吉野作造の民本主義は大正時代の動きであり、時代背景が異なります。福沢は実学（生活に役立つ学問）を重視し、それによって国民一人ひとりが独立することを求めました。
問7	答え 4 土地の所有者が、その土地の価格（地価）の3%を、豊凶に関わらず現金で納める。	明治政府は近代国家としての財政を安定させるため、1873年から地租改正を実施しました。それまでの「収穫高に応じた米での納付（年貢）」から、「地価を基準とした現金での納付（地租）」へと大きく転換しました。この際、政府は土地の所有者に地券を発行して所有権を認めるとともに、納税の義務を耕作者ではなく土地の所有者に課しました。
問8	答え 1 福沢諭吉	封建的な身分制度を批判し、一人ひとりが学問に励んで自立することが国家の独立につながると説きました。慶應義塾の創設者としても知られ、当時の日本に合理的な西洋の考え方を広める大きな役割を果たしました。
問9	答え 1 話し合いの場を設けて、人々の意見を尊重しながら政治を行うこと	「公論（世論）」に基づき政治を行うことを宣言することで、倒幕に協力した諸藩の不満を抑え、国民の力を結集させて近代的な国家をつくらうとする意図がありました。この考え方は、のちの自由民権運動において「国会を開設せよ」という主張の根拠としても引用されることになります。
問10	答え 2 富国強兵	明治政府は、欧米の先進国に追いつき、日本の独立を維持するために、経済力と軍事力を同時に高める必要があると考えました。この方針を実現するために、官営模範工場の設立などの「殖産興業」や、国民に兵役を課す「徴兵令」などが実施されました。
問11	答え 2 欧米列強に対抗できる経済力と軍事力を持つ「富国強兵」を目指したため。	明治維新後、政府は欧米列強による植民地化を防ぎ、対等な立場を築くために「富国強兵」を掲げました。この目標を達成するためには、国民全体の知識水準を向上させる教育（学制）や、身分を問わず組織された近代的な軍隊（徴兵令）が必要不可欠であると考えられ、急速な社会制度の改革が進められました。
問12	答え 4 日本が近代化された国であることを欧米諸国に示し、不平等条約の改正を有利に進めるため。	当時の日本にとって、幕末に結ばされた不平等条約の改正は国家の悲願でした。そのためには、日本が法制度だけでなく社会生活においても欧米並みの「文明」を備えた近代国家であることを対外的に証明する必要がありました。このように、生活様式の変化は単なる流行ではなく、外交上の目的とも深く結びついていました。

問1 明治政府が行った諸改革のうち、国民に「教育」「納税」と並ぶ義務を課した「徴兵令」の内容として正しい説明を選んでください。 (2026年 岡山県公立入試 類似)

1. 一定の納税額があることを条件として、満25歳以上の男子に兵役と選挙権を同時に与えた。
2. 四民平等の考えに基づき、士族だけでなく農民なども含む満20歳以上の男子を対象とした。
3. 義務教育の普及を目的とした学制と同時に導入され、小学校を卒業した男子にのみ課された。
4. 地方自治の強化を目指し、各府県の判断で兵役の対象者を選出できる仕組みとした。

問2 明治時代初期の日本において、政府が「富国強兵」や「殖産興業」といった政策を強力に推進し、近代化を急いだ理由として最も適切な説明を選びなさい。 (2016年 長野県公立入試 類似)

1. 欧米列強に対抗できる国力をつけ、独立を維持し植民地化を避けるため
2. 鎖国体制をより強固なものにし、外国の影響を一切排除するため
3. 白村江の戦い以来続いている伝統的な防衛体制を現代化するため
4. 冷戦下の国際秩序において、周辺諸国との軍事バランスを保つため

問3 19世紀後半の明治維新时期において、木戸孝允らが版籍奉還や廃藩置県を断行した目的として最も適切なものはどれですか。 (2016年 福岡県公立入試 類似)

1. 天皇を中心とした中央集権国家のしくみを整えるため
2. 幕府の権威を回復させ、封建的な社会制度を維持するため
3. 鎖国体制を強化し、海外文化の流入を制限するため
4. 各藩の自治権を強め、地方分権的な政治を進めるため

問4 明治政府が、欧米諸国に対抗できる経済力をつけるために、西洋の近代的な技術や機械を導入して産業の育成を図った一連の政策を何といいま

1. 殖産興業
2. 地租改正
3. 富国強兵
4. 文明開化

問5 北東アジアの地図上において、樺太島全体をロシア領とし、そこから北東に連なる島々である千島列島を日本領とすることで領土を交換した1875年の条約について、日本側がこの交渉を行った外交上の主な目的として最も適切なものはどれですか。 (2026年 埼玉県公立入試 類似)

1. 日清戦争に備えてロシアを味方につけるために、樺太の資源を譲渡するため
2. ロシアとの間で不明確であった国境を画定させ、北方での紛争を未然に防ぐため
3. 千島列島を拠点として、カムチャツカ半島への進出を国際的に認めさせるため
4. 不平等条約の改正を有利に進めるために、ロシアと軍事同盟を結ぶ必要があったため

問6 明治政府が「廃藩置県」という強硬な改革を断行した最大の目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 埼玉県公立入試 類似)

1. 天皇が全国を巡幸するための宿泊施設を、各県に整備させるため
2. 中央政府が全国の土地と人民を直接支配し、中央集権国家を確立するため
3. 各地の開闢を廃止し、人や物の往来を自由にして商業を活性化させるため
4. 旧藩主の債務を政府が肩代わりし、士族の生活を保護するため

問7 明治政府が廃藩置県を実施した際、旧藩主（知藩事）を罷免して東京に移住させ、代わりに中央政府から新たな知事を各県に派遣しました。このような仕組みを導入した目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 新潟県公立入試 類似)

1. 全国を中央政府が直接治める中央集権体制を確立するため
2. 農民の不満を抑えるために、旧藩主による厳しい支配を継続させるため
3. 地方ごとの独自の法律や通貨を尊重し、地域の個性を高めるため
4. 旧藩主の軍事力を維持したまま、対外戦争に備えるため

問8 明治政府が実施した地租改正の仕組みについて述べたものとして、最も適切なものはどれですか。 (2021年 秋田県公立入試 類似)

1. 土地の耕作者が、地価の3%に相当する額を、政府の指示に従って米または現金で選択して納める。
2. 土地の所有者が、その土地の価格（地価）の3%を、豊凶に関わらず現金で納める。
3. 土地の耕作者が、その年の収穫高の3%を、地券の交付を受けた後に米で納める。
4. 土地の所有者が、収穫高を基準として算出された金額を、物価の変動に合わせて現金で納める。

問9 明治維新の初期に行われた政治改革の年表において、1869年の「版籍奉還」に続き、1871年には藩を廃止して県を置く大規模な改革が実施されました。この一連の改革によって、地方の統治権を天皇を中心とする政府に統合した政治体制を何と呼びますか。 (2026年 静岡県公立入試 類似)

1. 地方分権体制
2. 中央集権体制
3. 封建体制
4. 幕藩体制

問10 1877年に実施された地租の税率引き下げ（3%から2.5%への変更）は、当時の社会情勢と深く関わっています。政府がこの時期に減税を急いだ背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 静岡県公立入試 類似)

1. 自由民権運動の広がりにより、帝国議会において地租軽減案が可決されたため。
2. 欧米諸国から、農民に対する重税が文明国にふさわしくないという外交的批判を受けたため。
3. 殖産興業が順調に進み、地租以外の関税収入が政府予算の大部分を占めるようになったため。
4. 各地で激化した農民の不満が、同時期に発生した士族の反乱と結びつくことを恐れたため。

問11 明治政府が江戸時代の年貢制度を廃止し、地租改正を行った最大の目的を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2015年 岐阜県公立入試 類似)

1. 農民の税負担を大幅に軽減することで、地方での一揆を鎮め、新政府への支持を固めるため
2. 豊作や不作、あるいは米の市場価格の変動に左右されることがなく、政府が安定した収入を得られるようにするため
3. 米による納税を継続しつつ、農民が余った米を自由に輸出できるようにして外貨を稼げるため
4. 土地の売買を禁止し、すべての土地を国有化することで、政府による直接的な農業指導を強化するため

問12 明治政府が地租改正において、税の基準を「収穫高」から「地価」へ、納入方法を「米（物納）」から「現金（金納）」へと変更した最大の目的は何ですか。 (2017年 神奈川県公立入試 類似)

1. 江戸時代の石高制を維持したまま、農民が自由に農作物を売買できるようにするため。
2. 土地の売買を厳しく制限することで、農民が土地を手放して都市へ流出するのを防ぐため。
3. 作物の豊凶や米価の変動に左右されず、政府が安定した税収を得られるようにするため。
4. 小作人の税負担を大幅に軽減し、農村における貧富の差を解消するため。

問13 明治政府が地租改正を行い、税率を「収穫量」ではなく「地価」に基づき、さらに「現金」で納めさせるようにした目的として最も適切な説明はどれですか。 (2016年 静岡県公立入試 類似)

1. 江戸時代から続く複雑な税制を簡略化することで、地方自治体の徴税コストを大幅に削減するため。
2. 米の流通量を政府が完全に管理することで、都市部での米不足や価格の暴騰を未然に防ぐため。
3. 重い税負担に苦しんでいた小作農に土地を与え、農村全体の所得を向上させて国内の景気を刺激するため。
4. 農作物の豊凶や米の価格変動に左右されず、政府が一定の税収を確実に得て、国家財政を安定させるため。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 四民平等の考えに基づき、士族だけでなく農民なども含む満20歳以上の男子を対象とした。	徴兵令は、江戸時代までの「軍事は武士が担う」という特権を廃止し、国民全体で軍隊を組織する「国民皆兵」を目指したものです。これは、身分の平等をうたった「四民平等」の考えを軍事面で実現しようとしたものでしたが、農村部では貴重な労働力を奪われるとして反対一揆が起こることもありました。
問2	答え 1 欧米列強に対抗できる国力をつけ、独立を維持し植民地化を避けるため	近代の始まりにおいて、日本は欧米諸国によるアジア進出という大きな波にさらされていました。先行して植民地化された他のアジア諸国の二の舞を避けるためには、西洋の技術や制度を取り入れて国力を高め、国際的に対等な立場を築く必要がありました。この「独立の維持」という切実な目的が、日本を急速な近代化へと突き動かしました。
問3	答え 1 天皇を中心とした中央集権国家のしくみを整えるため	欧米列強に対抗できる近代国家を築くためには、地方の権力を中央政府に集中させる必要がありました。木戸孝允は、土地と人民を天皇に返還させる版籍奉還や、藩を廃止して県を置く廃藩置県を通じて、政府が全国を一体的に統治できる基盤を作りました。
問4	答え 1 殖産興業	明治政府は、軍隊を強化して国の独立を守る「富国強兵」を実現するため、その経済的基盤となる産業を振興させる「殖産興業」を推進しました。この政策により、通信（電信）、交通（鉄道）、郵便などの制度が整えられるとともに、近代的な工業化が進められました。
問5	答え 2 ロシアとの間で不明確であった国境を画定させ、北方での紛争を未然に防ぐため	江戸時代末期に結ばれた日露和親条約では、千島列島の境界は定められたものの、樺太については両国民の混住地（境界未定）とされていました。近代国家として中央集権化を進める明治政府にとって、領土の範囲を確定させることは急務であり、ロシアとの武力衝突のリスクを避けるために交換という形で解決を図りました。
問6	答え 2 中央政府が全国の土地と人民を直接支配し、中央集権国家を確立するため	廃藩置県が行われる前の版籍奉還では、土地と人民が形の上では天皇に返されましたが、実際には旧藩主が知藩事として統治を続けており、封建的な体制が残っていました。政府は、租税の徴収や軍隊の指揮を全国規模で統一し、近代的な「中央集権国家」をつくるために、藩そのものを廃止して政府直轄の県を置く必要があったのです。
問7	答え 1 全国を中央政府が直接治める中央集権体制を確立するため	当時の政府は、旧藩主がそれぞれの土地を治め続ける仕組みでは、近代国家としての一体性が保てないと考えました。中央から知事を派遣することで、各地域の行政・軍事・徴税権を政府のコントロール下に置き、全国一律の近代的な制度を導入できる基盤を作りました。これを「中央集権」と呼びます。
問8	答え 2 土地の所有者が、その土地の価格（地価）の3%を、豊凶に関わらず現金で納める。	明治政府は近代国家としての財政を安定させるため、1873年から地租改正を実施しました。それまでの「収穫高に応じた米での納付（年貢）」から、「地価を基準とした現金での納付（地租）」へと大きく転換しました。この際、政府は土地の所有者に地券を発行して所有権を認めるとともに、納税の義務を耕作者ではなく土地の所有者に課しました。
問9	答え 2 中央集権体制	明治政府は、欧米列強に対抗できる近代国家を建設するため、それまで各藩の領主（大名）が持っていた統治権を中央政府に集約する必要がありました。1871年の廃藩置県により、全国の土地と人民を政府が直接支配する仕組みが整い、中央集権体制が確立されました。
問10	答え 4 各地で激化した農民の不満が、同時期に発生した士族の反乱と結びつくことを恐れたため。	1877年は、鹿児島で西郷隆盛らによる西南戦争が起きた年です。政府は、重税への抵抗を強めていた農民たちが、士族による反乱勢力と合流して大規模な反政府運動に発展することを強く警戒しました。そのため、税率を地価の2.5%に下げることによって農民の不満を和らげ、政権の安定を図ろうとする政治的な判断がなされました。
問11	答え 2 豊作や不作、あるいは米の市場価格の変動に左右されることなく、政府が安定した収入を得られるようにするため	江戸時代の年貢は米で納められていたため、天候不順による不作や、米の価格下落が直接政府の減収につながり、財政が不安定でした。地租改正では、天候に関わらず一定である「地価」を基準にし、さらに「現金」で納税させることで、政府が年間の予算を計画的に立てられる安定した国家財政の基礎を築こうとしました。
問12	答え 3 作物の豊凶や米価の変動に左右されず、政府が安定した税収を得られるようにするため。	江戸時代の年貢は収穫高に応じて米で納める仕組みだったため、不作の年や米の価格が下落した年には政府（幕府や藩）の収入が大きく減るという欠点がありました。近代国家を目指す明治政府は、安定した予算を組んで富国強兵や殖産興業を推進する必要があったため、土地の価格を基準に固定の金額を現金で納めさせることで、天候や市場価格に影響されない確実な税収を確保しようとしていました。
問13	答え 4 農作物の豊凶や米の価格変動に左右されず、政府が一定の税収を確実に得て、国家財政を安定させるため。	米による物納では、天候による豊凶や市場での米価の変動によって、政府の歳入が大きく増減してしまい、近代国家としての計画的な予算編成が困難でした。地租改正によって「地価に応じた現金納」に転換したことで、政府は毎年の収入を一定に保ち、安定した国家財政の基盤を築くことが可能になりました。